

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の見直し時期のモニタリングや生活課題の抽出と実践でのスタッフの意識に差がある。	生活課題から導き出される生活目標を担当職員を中心としてチーム間で共有し支援やケアにつなげていきたい。	利用者のニーズが生活の課題として目標に取り込み、QOLの維持、向上のために援助内容まで具体的に協議し、実施することでケアの統一性を図っていく。	6ヶ月 ～ 12ヶ月
2	33	利用者の高齢化と重度化(看取り)への体制づくり	終末期ケアでのスタッフの意識改革やターミナルケアに関する知識、技術の向上を図りたい。	・疼痛の緩和に向けての声かけや死の受け入れ方や対応等、施設内外で行われる研修に参加し必要な知識を履修する。 ・医師、看護師との連携体制を整える。 ・家族との信頼関係の構築に努める。	12ヶ月
3	35	・安心できる生活の確保 ・災害時の安全対策	スタッフの一人ひとりが日頃より危険から身を守るための適切な判断と迅速な行動をとるための予備知識を身につけ、対策を講じ、災害に備えていきたい。	・利用者様の日常生活に起こり得る危険や事故に対するリスク管理を行い、事故防止に努める。 ・災害を想定した訓練を実施し、その都度、問題点を協議し改善策を検討する。 ・緊急連絡網や最善を尽くせる体制を整えていく。	12ヶ月
4	35	災害時に地域密着型施設としての役割が担え、互いの協力体制を整えていきたい。	定期的に避難訓練(火災・地震・津波)を実施しているが、地域住民の方に協力を頂き、今後は行方不明利用者の捜索訓練も実施していきたい。	施設は地域住民の避難所に指定されている。区長さんや地域の民生委員さんを始めとする地域住民のかたと対策を協議しながら合同の避難訓練等を行い、いざという時に備えての顔の見える関係づくりを推進していく。	12ヶ月
5	29	小学生や保育所の園児さんとの交流は年に数回あるが、地域の住民の方と入居者様との触れ合う機会が少ない。	商店が立ち並び民家が少ない立地環境にあるが、日頃から地域の方々との交流の機会を持ち、ホームの存在や活動等の理解を拡げてきたい。	散歩や外気浴等をもっと生活に取り入れ、近隣住民のかたとの交流の機会を増やし、地域の活動や行事に参加をしたり、利用者様が地域から孤立しないように、ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。